

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

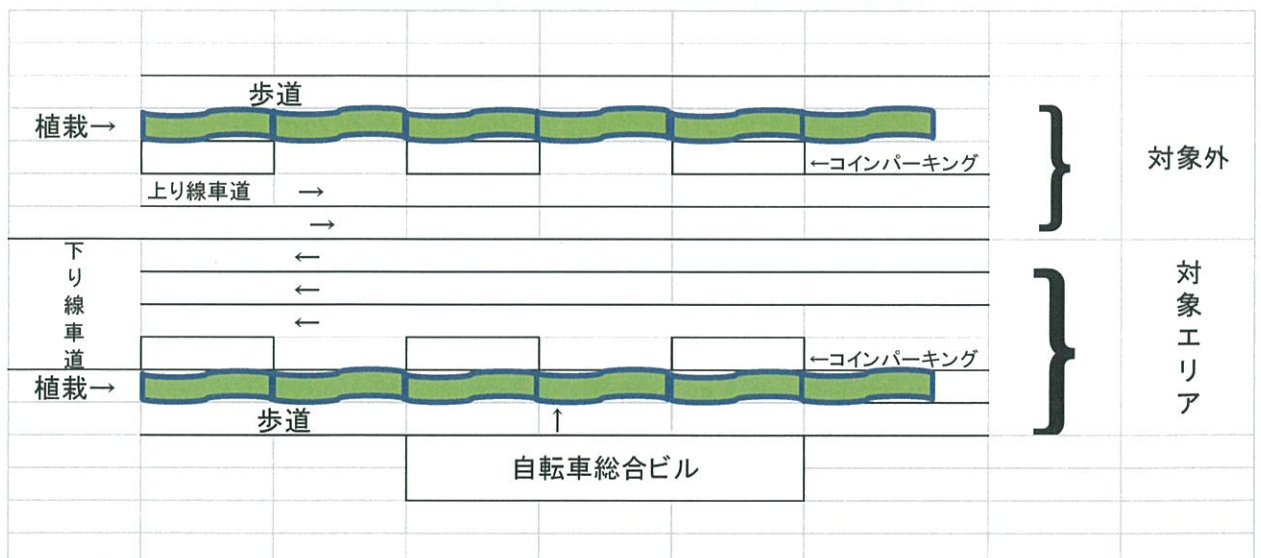
平成28年9月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年8月2日～31日  
[午前]9:00～10:00、[午後] 14:00～15:00

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯]  
（歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m）
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間				車種	雨天		危険運転行為							
	車道左側	車道右側	車道中央	歩道		傘	傘差	危険	速度無視	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドルに荷物	過積載	その他
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

調査日時：	平成	年	月	日
天気：				風速：
調査時間：			～	

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、15～30%と多岐にわたるが、平均すると23%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の7割程度を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為等(違反行為を含む)は、肩に荷物(184件)・ハンドルに荷物(138件)・片手運転(97件/内25件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(45件)・立ち漕ぎ(31件)・過積載(23件)・子乗せ後部席に荷物(\*1)(14件)・脇見運転(13件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(8件)・ジグザグ運転(4件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 28 年度第 5 回目の調査となり、平成 28 年 4～8 月分の 5 カ月期間の様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(23.3%)は、前回(21.9%)と同様の水準である。  
                                  なお、午前 (23.7%)は、前回(21.0%)の 1.1 倍の水準である。  
                                  また、午後 (22.8%)は、前回 (23.1%)と同様の水準である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(18.6%)は、前回 (21.5%)の 9 割の水準である。
  
- ・電動自転車                今回(33.3%)は、前回(37.6%)の 9 割の水準である。
  
- ・危険運転行為              上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順  
(違反行為を含む)            であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。  
                                  一方、下位 3 件別では、[脇見運転・歩道上でのスピードの出し  
                                  すぎ・ジグザグ運転] の順であり、期間中の共通項目は、3 項目全  
                                  てが該当している。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(566 件)の 5 割強(322 件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1069 名)における危険運転行為等(違反行為を含み 566 件)の比率は、49%(\*2 )となっている。

\*2 実際は、1 名で複数の危険運転行為等を実施している件(42 件)も含まれるため

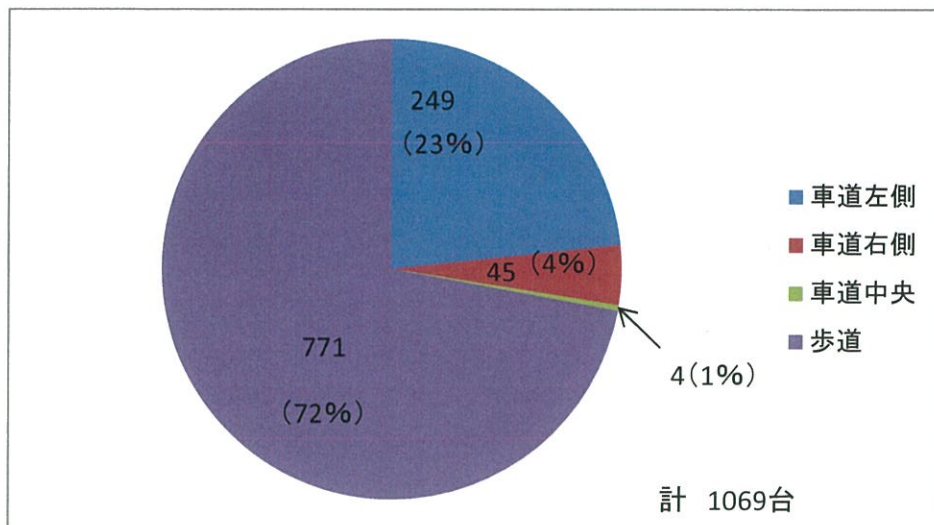
なお、今回は、新たな危険運転行為は、発生していない。

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計 2 人)に対し、合羽着用者(計 13 人)で約 6.5 倍となっている。

調査期間は、3 日間であった。

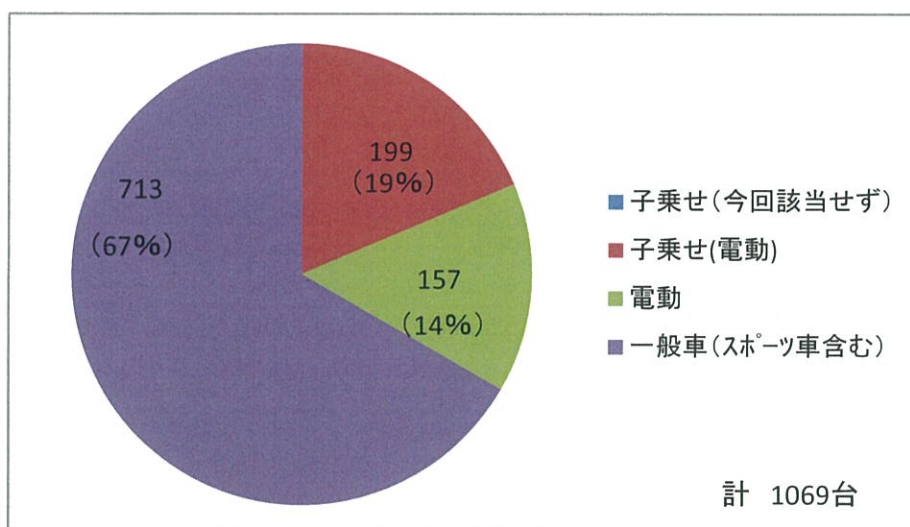
単に傘さし運転者が少なかったという理由でなく、雨天時には、合羽を着用するというマナーの向上の顕れであると考慮される。

\* 参考として、昨年 6 月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間 4 日間で、合羽着用者(計 25 人)は、傘さし運転者(計 5 人)の 5 倍であった。



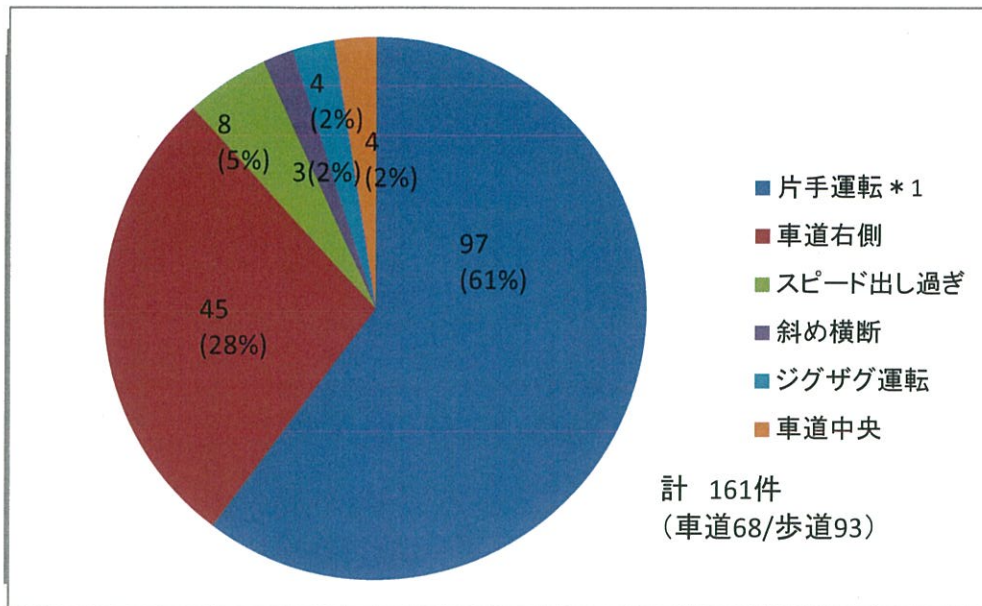
走行空間

調査期間 8/2~31



車種

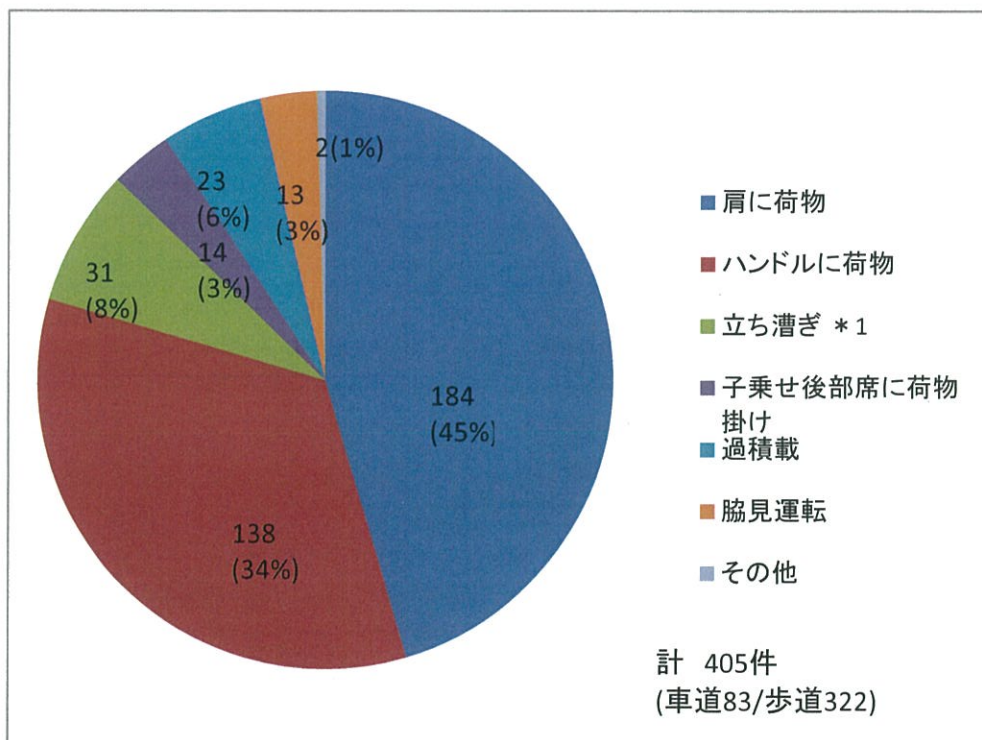
調査期間 8/2~31



違反運転行為

調査期間 8/2~31

\* 1 内25件 携帯電話を使用中の運転

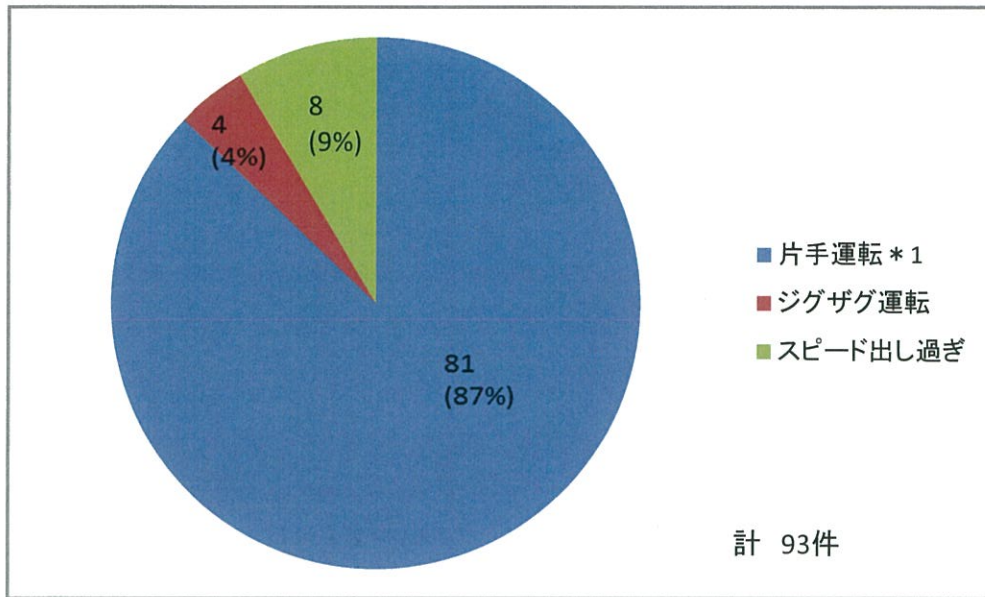


危険運転行為

調査期間 8/2~31

\* 1 比率内訳: 上り坂30・下り坂1

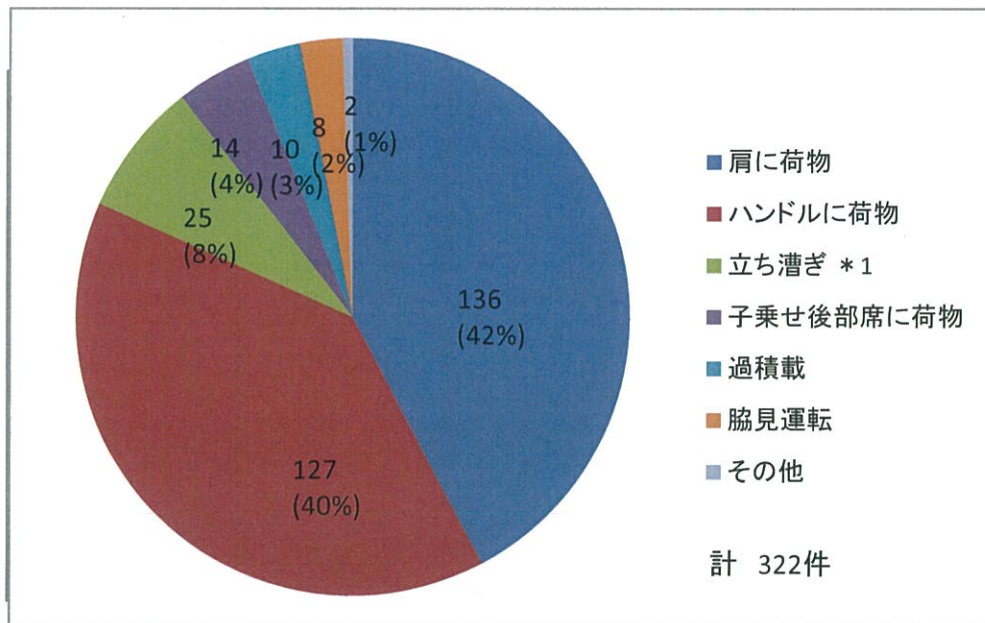




違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 8/2~31

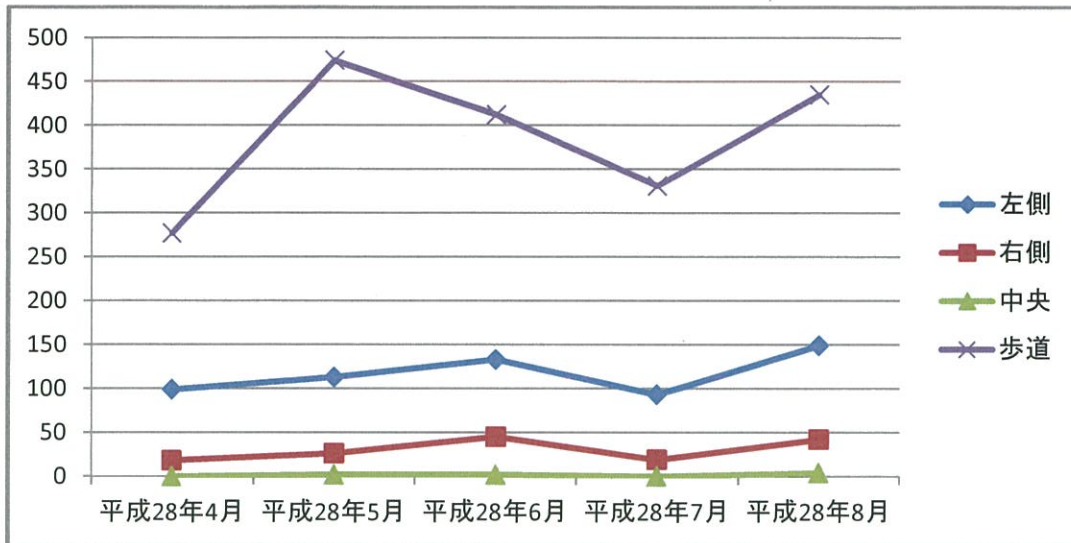
\* 1 内22件 携帯電話を使用中の運転



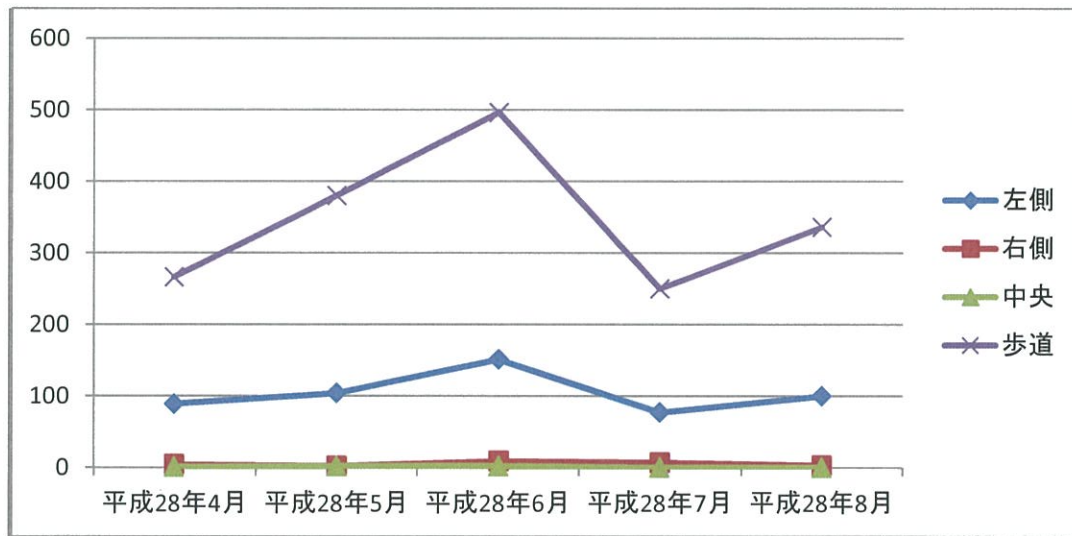
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 8/2~31

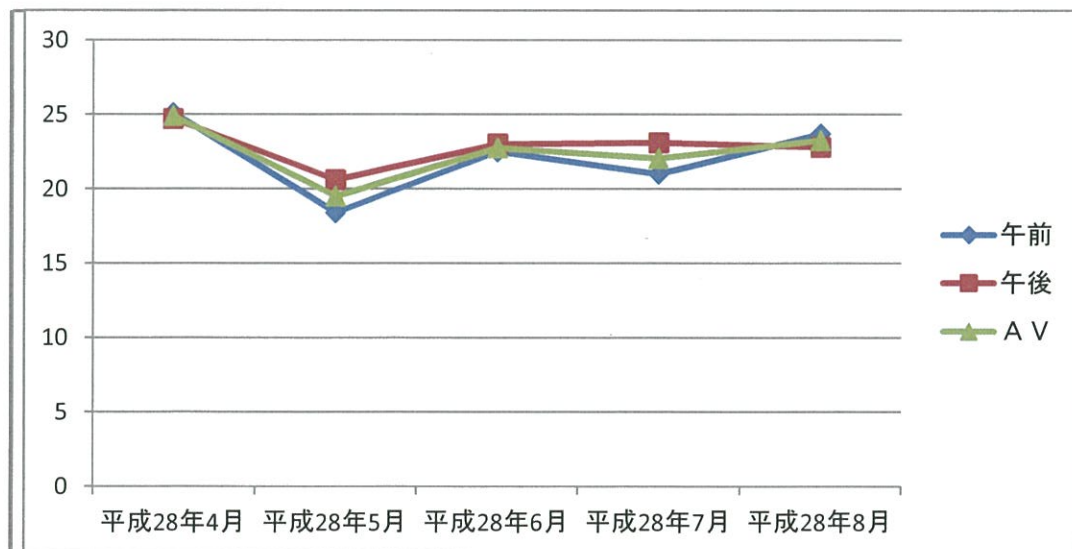
\* 1 比率内訳: 上り坂25・下り坂0



走行空間 午前 (台数)

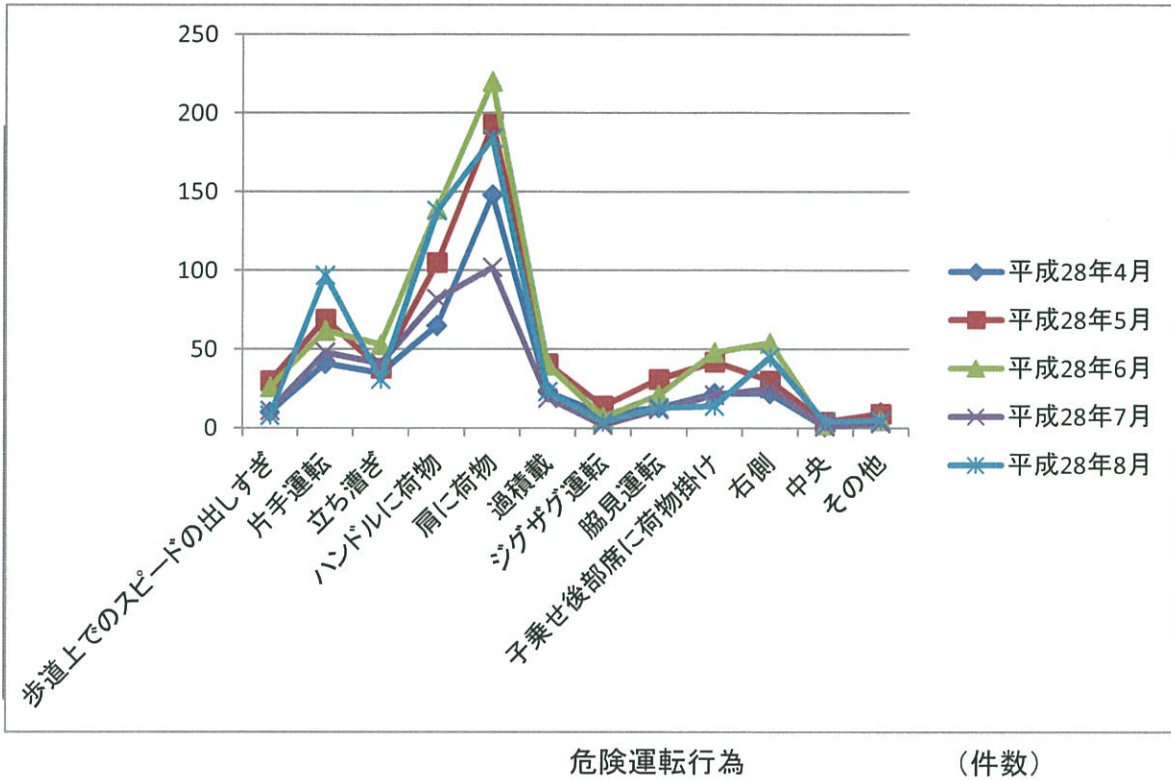


走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)





## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成28年9月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年8月25日  
[午前]9:00～10:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から70m程の上り坂)

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員 3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← } ↑	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道		
	白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査点検調査票

No.	走行空間			車種	乗客	危険運転行為			
	車道左側	車道中央	歩道			違反	危険	危険	危険
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									

調査日時： 平成 年 月 日 ( )
天気： 気温： 湿度：
調査時間： 開始： 終了：

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、25%であり、また、車道中央走行率は、16%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の約6割を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む) は、車道中央走行(11 件)・肩に荷物(8 件)・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ・片手運転/(各 2 件)・脇見運転・過積載(各 1 件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の 8/24 午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(25%)は、前回 (15%)の約 1.7 倍の水準 である。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・25%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・23%)とは、1.1 倍の水準である。

・子乗せ自転車

今回(18%)は、前回(6%)の3倍の水準

上り地点(18%)に対し、下り地点(18%)と同様の水準

・電動自転車

今回(33%)は、前回(19%)の1.7倍の水準である。

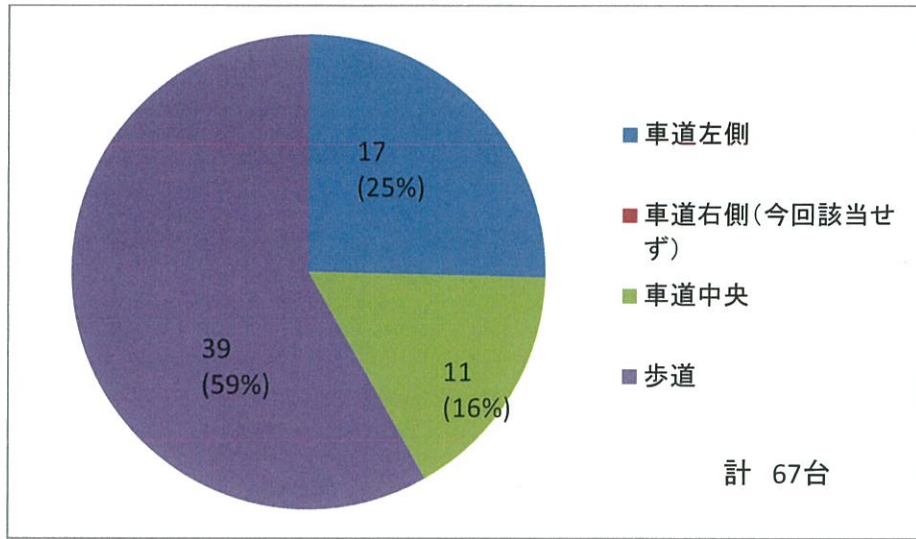
上り地点(33%)に対し、下り地点(41%)と8割の水準

・危険運転行為                    上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・ハンドルに荷物] に対し、下り地点では [肩に荷物・ハンドルに荷物・車道右側走行] と、共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の2件となっている。

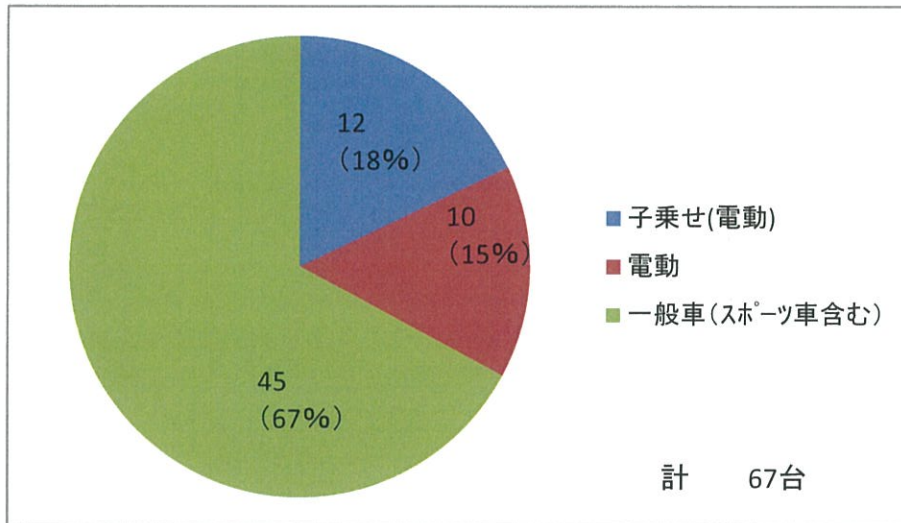
(違反行為を含む)

なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

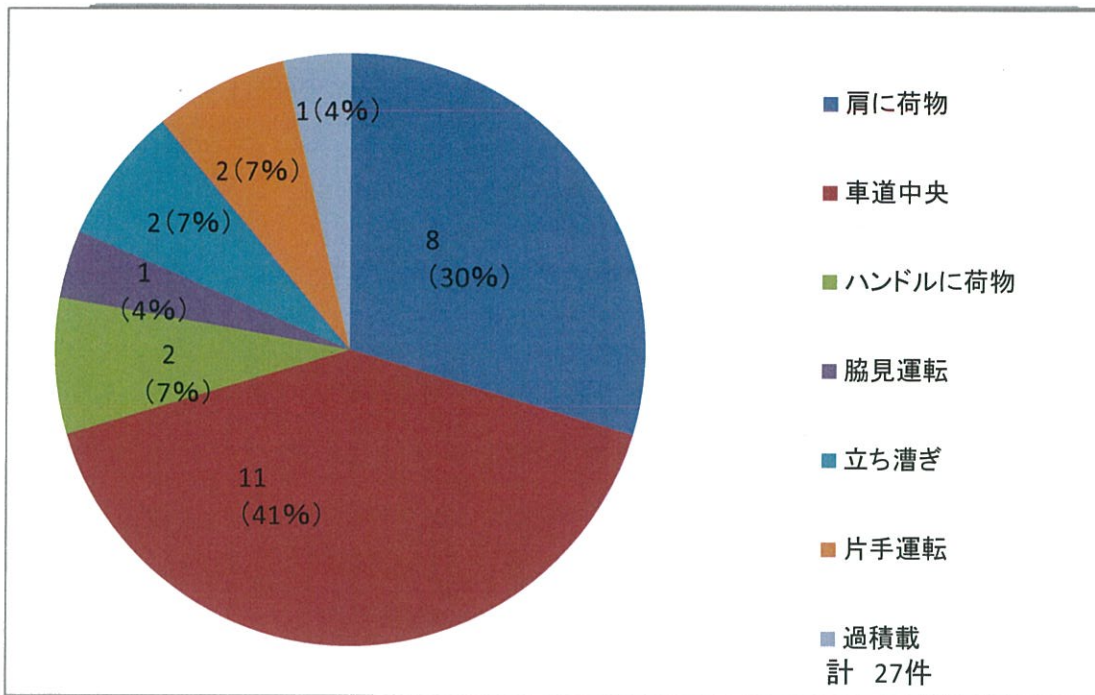
さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から道路中央を走行していたが、4車線での中間(両隣が2車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。



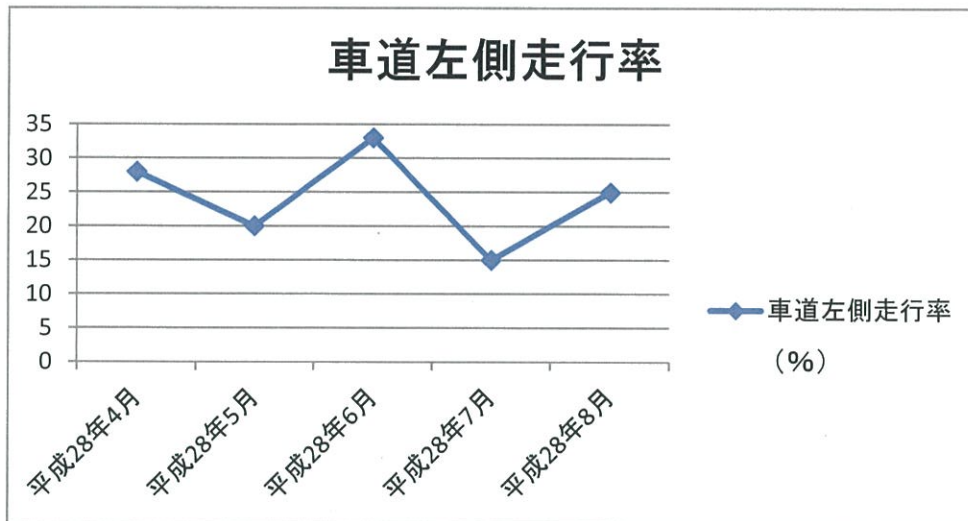
走行空間



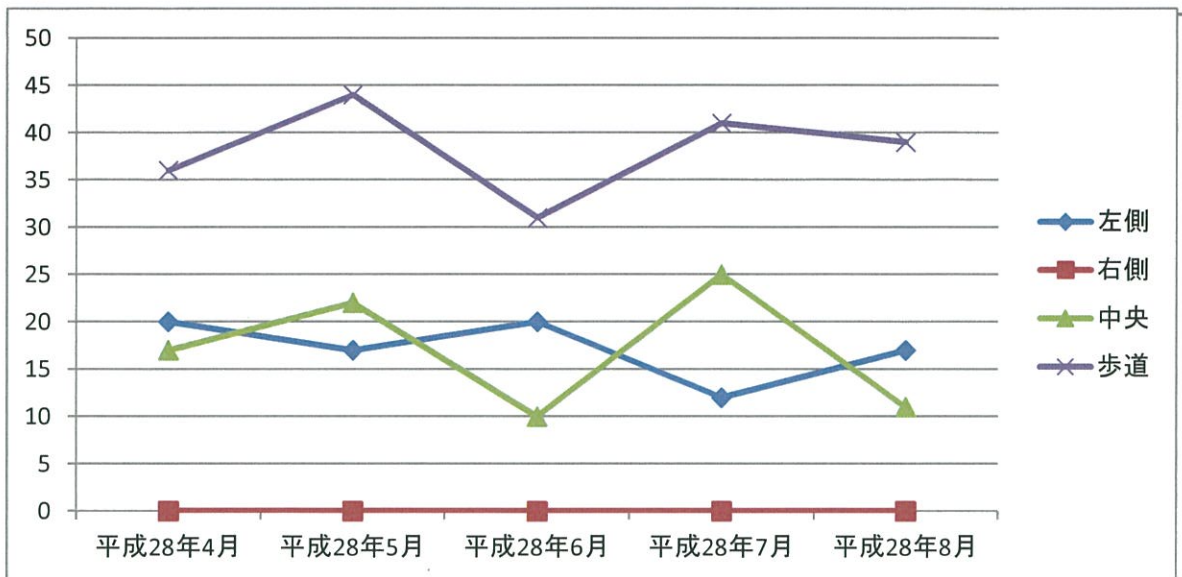
車種



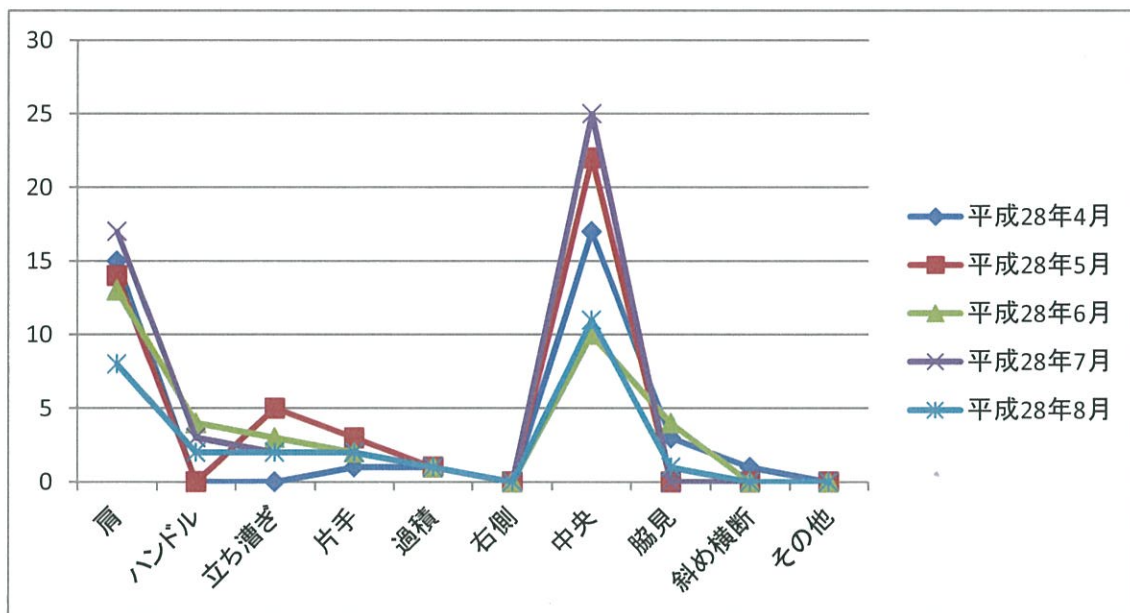
危険運転行為 (違反行為を含む)







走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)